

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和4年度）2022

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	5	5	水	8:00	12:00	五味ヶ谷市民の森	18名
活動名称	家族で楽しむタケノコ掘り体験会 その2					報告者：吉井 優	

1、活動目的

竹林整備の一環として、タケノコの駆除活動（適正本数管理）を行っています。これをイベントに変えたのが「家族で楽しむタケノコ掘り体験会」です。子どもたちの笑顔があふれ親御さんからも好評を得ています。

2、活動内容ほか

スタッフは8時に集合し、道具の確認と焚火を始めました。スタッフは里山クラブ18名、杉下支え合い協議会5名、一二三富の会3名が参加しました。9時から受付を始め、40組の家族合計124名が参加しました。9時15分からスタートセレモニーを開始し、9時半からタケノコ掘りをスタートしました。スタッフは大名焼き用のタケノコを掘り、焚火にいれ、食べる準備を始めました。参加者は、自分で掘るタケノコを選び、タケノコの周りを根元まで掘り進め、赤いブツブツが出たら、根元から切り取る作業を丁寧に体験しました。ひと段落したところで、大名焼きや、ホイル焼きをいただき、最後に、市民の森を案内して、11時ごろにイベント終了となりました。

3、評価：

昨年は不作の年で、参加者を減らして開催しましたが、今年は豊作で定員いっぱいの参加者が好きなだけ、掘ることができ、皆さん大満足で終了となりました。

今年から始めた大名焼きは、準備の手間が簡単で、掘ったタケノコを焚火にくべるという野性味あふれる自然体験ということが好評でした。

3、課題

この体験会は、竹林整備の一環で保存するタケノコを選別し、それ以外を駆除するためにタケノコを掘る体験です。スタッフは朝早く、残すタケノコに赤テープを巻き付け、掘ってはいけないタケノコを指示しましたが、スタートセレモニーのタケノコ掘りの説明で、言及しなかったため、ほとんど掘られてしまいました。

また、イベント終了後見回りをしたところ、掘り跡の埋め戻しをせず、大きな穴があいたままの所が数か所ありました。あとでスタッフに聞いたところ、参加者から初めの説明で埋め戻しの指示がなかったと言っていたそうです。

4月の大名焼きにはえぐみがあり美味しくなかったとか、5月は、芽の出たばかりのタケノコを選び、掘ってすぐに焚火に投入しました。結果、えぐみのない美味しい大名焼きになりました。タケノコは、太陽光にあたるとえぐみが増すそうです。太陽光が当たらないタケノコの芽は黄色で、これが緑になると、太陽光を浴びた証拠になるそうです。京都の白筍はえぐみがなく、お刺身で食べられますが、これは、芽がでていない土の中のタケノコを商品にしているからだそうです。我々も当日食べてもらうタケノコについては、せめて芽が出たてのタケノコを選別し提供できるよう努力しましょう。

<里山参加会員> 風祭、笹崎、福島、阿部、石川、杉山、大森、柳川、小澤邦、
牛島、小嶋、小澤弘、田中、吉富、柏木、佐野和、上見、吉井

<活動写真>

